

庄川美術館友の会便り

H27年度 最終号

水きらら・人・花展 展覧会の集い 2月28日



今年度最後の集いが行われ、多くの方々に管弦楽八重奏（一）や川端治子ギャラリートーク（一）で和やかなひと時を満喫いただきました。



第一部の「シュューベルティアーデ」の管弦楽八重奏では、ドヴォルザークのチェコ組曲を演奏していただきました。「管弦楽」と聞いただけで、どこか優雅な雰囲気にも包まれ、宮廷の宴に招かれた貴族のような気分になります。しかし彼らの目指す演奏はもつと身近で家庭的なクラシック。「シュューベルティアーデ」というグループ名は作曲家シュューベルトのもとに愛好者たちが集い演奏を楽しんだ夜会にちなんでいます。その名には演奏会の大小を問わず、その時々で出会った人々と一緒に「音を楽しまつ」というメッセージも込められているように思えてきます。彼らの奏でる響きからはそんな分かち合いの気持ちたちが伝わってくるのです。ぜひ、また素敵なシュューベルティアーデを開きたいものです。

第二部のギャラリートークでは、川端治子さんが作品についてさまざまな思いを語ってくださいました。母親の肖像画、河原の石、旅行での思い出の風景など、この日のために一つ一つ描いた時の新鮮な気持ちを思い起こし書きつづられた所感文を手にとり丁寧な解説をいただきました。

「河原の石が水にぬれると違う表情になる、それが面白くて・・・」。今年度の公募展「庄川流域を描く」で奨励賞を受賞された「庄川の岸辺」という作品についての話をされました。（左写真）川ではなく岸辺に何気なく転がっている石の一つ一つに、個性を見出しその違いを描いています。名もなき石たちが、川端さんの優しい目には宝石よりも価値のあるものに映ったのに違いはない。始めは「一つ一つしていたけれども庄川の流れにいつしか丸くなったそんな石たちの歴史にまで思いを馳せ、大胆な構図の中に繊細に描き上げられています。

締めくくりに家族を始め周りの人々の応援や後押しがあつて今日も作品を描くことができたとおっしゃっていました。人だけでなく物や風景など何に対しても出会う喜びと感謝の気持ちがあふれ、それが創作の原動力となっていることは間違いないと思います。どちらかというとそんな川端さんの優しい人柄に巡り合いたいと周りのほうから自然と誘われてくるのかも知れません。



水きらら・人・花展

【ワークショップ 石のオブジェを作ろう】を開催し、参加者の皆さんはいろいろどりの石のオブジェを完成させました。（二月十七日、三月十二日）

まずは、カラフルな羊毛フェルトをほぐしある程度均一に広げます。手のひらサイズの丸い石ころにまんべんなくそれを巻きつけ石の地肌が見えなくなるように包み込みます。中の具が石のふんわり綿のおにぎりを作るようなイメージです。羊毛の分量が意外と難しいですが、大胆に巻きつけてみてください。次に、食器洗い洗剤をぬるま湯で薄めたものにその綿おにぎりを一くぐりさせ、手のひらでお団子を作るようにひたすらころころ転がします。泡立ってきて手の中で羊毛フェルトが縮んで石のサイズまで締まってゆくのがわかります。そのうち、石がマール模様様の羊毛でコーティングされたようになります。泡をタオルなどでふき取り、水で濯ぎ乾かして出来上がりです。模様も色の組み合わせによってさまざまですので、一つとして同じものができません。オンラインワンなオブジェ、ぜひお試あれ！

平成 28 年度も庄川美術館、庄川水資料館 ますます盛りだくさん

庄川水資料館ミニギャラリー企画展

「遠藤満智子 水墨画展」

庄川町出身で埼玉在住の遠藤満智子さんが故郷庄川を題材に描いた水墨画を展示します。「隠れた才能が開花する」といいますが、彼女もまたその才能の持ち主です。育った庄川を愛し、恩返しするそんな気持ちのこもった水墨画の数々をお楽しみください。

会期 4/2(土)～5/8(日)

庄川美術館実技講座ラインナップ

- 1.花しょうぶを描く 小原好博先生
6/25(土)、26(日) 頼成の森
- 2.人物を描く 藤森兼明先生
7/17(日)、18(月・祝) 庄川生涯学習センター
- 3.人物像を造る 堀田清先生
8/6(土)、7(日) 庄川生涯学習センター
- 4.海を描く 吉川信一先生
10/1(土)、2(日) 氷見方面(海岸沿い)
- 5.干支を彫る (酉) 野村修三先生
11/13(日)、20(日) 庄川美術館

※1 か月前から受け付けます。(ただし、「4.海を描く」は宿泊の可能性もあります。宿の予約のため少し早めに受け付け開始したいと考えております)

詳しいことについてのお問い合わせやお申し込みは庄川美術館まで 0763-82-3373

日本画燦々 ワークショップ

「my 屏風を作ろう!」

講師 網谷真佐美 先生

◎日時 5月8日(日)、10:00～12:00

◎場所 庄川美術館ラウンジ

◎会費 800円

◎持ち物 顔彩、水彩絵の具、彩色筆などお手持ちの画材

◎定員 10名

内容 紙に顔彩などで好きな絵を描き、それをミニサイズの二曲屏風に仕立てます。オリジナルミニ屏風作ってみませんか？大きさは20cm×20cmが2枚です。絵の題材は花や野菜など、ご自分の描きたいものを事前にご準備ください。

あつという間に平成二十七年度も終わりです。友の会の皆様には、企画展関連イベントならびに他館鑑賞会などへのご参加を通して、多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年度を振り返りますと、たくさんの方の新たな思い出が蘇ります。数々の作品との出合い、演奏や歌、笑いやハプニング、ちよつとしたことも豊かな人生の一コマとなつて刻まれてゆきます。そして、次年度への期待と楽しみが増します。どうか、皆様のあたたかいお力添えを賜りますよう、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。皆様のアイデアやリクエスト、他館鑑賞会で行つてみたいところや、展覧会の集いで演奏を披露していただける方など、素敵な情報をぜひ、お寄せください。お待ちしております。

☆庄川美術館では新規友の会会員を募集しています。

「友人、ご親戚に芸術文化に興味のある方いらっしゃいませんか？ぜひ友の会の会員に誘つてみては・・・。」

- ◎ 年会費二、〇〇〇円で同伴者一名と年間無料で入館できる優待券をお渡します。
- ◎ 企画展や展覧会の集いのご案内をいたします。
- ◎ 県内外の鑑賞ツアーのご案内をいたします。

ご意見、お申込み、お問い合わせ庄川美術館までTEL0763-82-3373

友の会の皆さまからの貴重なご意見をお待ちしております。